


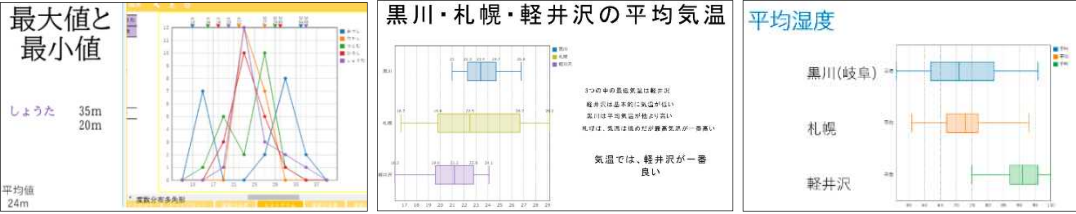


# ICT実践レポート

作成者（黒川中学校） 氏名（熊崎吉久）

学年	第1学年、第2学年	
教材	「データの分析」大日本図書 教科書P256「データの利用」 「データの比較と箱ひげ図」大日本図書 教科書P256「箱ひげ図の利用」	
活用したソフトアプリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スグラパ</li> <li>・<a href="https://sgrapa.com/">https://sgrapa.com/</a></li> <li>・スカイメニュークラウド</li> </ul>	
活用の場面	数、式、図、表、グラフなどを作成して処理する場面	
活用したICT機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師用windowsタブレット</li> <li>・大型テレビ（提示用）</li> <li>・生徒用windowsタブレット</li> </ul>	
活用の実態	<p>第1学年「データの分析」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書ではガソリン軽自動車の燃費の表を分析し、説明する活動を行っているが、実践では別のデータ（仮想の5名の生徒の20回の記録と平均値）を分析、説明するように指導した。</li> </ul> <p>第2学年「データの比較と箱ひげ図」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書ではバレーボール選手の身長を表を分析し、説明する活動を行っているが、実践では別のデータ（黒川、札幌、軽井沢、沖縄、東京の7、8月の平均気温と平均湿度）を分析、説明するように指導した。</li> </ul> <p>(活用3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予め準備しておいたエクセルで作成したデータを、「スカイメニュークラウド」の送信機能を活用して生徒に配布した。生徒たちは配布されたデータを「スグラパ」を使って、度数分布表や度数分布多角形、箱ひげ図を各自で作成し、自分の主張をより明確なものにするためには、どのような資料をどのように提示すればよいかを考えさせるようにした。</li> </ul>	 <p>スグラパで資料を作成する様子</p>  <p>自分の考えを説明する様子</p>  <p>生徒がスグラパを使用して作成した資料の一部</p>
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは、与えられたデータから度数分布表や度数分布多角形、箱ひげ図などを作成するために膨大な時間がかかっていたが、スグラパを活用することで、資料を自分の力で簡単に作成できるようになった。そのため、説明する時の根拠となる資料を自ら考え作成したり、より説得力のある説明となるように資料を修正したりする姿が見られるようになった。</li> </ul>	
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生で初めてスグラパを使った生徒たちは、使用方法に慣れるまでに時間がかかってしまった。1年生と2年生の単元で、計画的にアプリを利用し使い方に慣れさせていくことで、より効率よく学習に取り組むことができるようになったと感じた。</li> </ul>	